

下の図（日本歯科医師会ホームページより引用）をご覧ください。お口のトラブル（特に歯周病）は全身の健康に影響を与えます。

例えば

脳梗塞・心筋梗塞

歯周病原菌などの刺激により動脈硬化を誘導する物質が出て、血管内にプラーク（脂肪性沈着物）が出来、血液の通り道が細くなり、詰まりやすくなります。

糖尿病

歯周病によってインスリンが生成されにくくなり、それによって血糖値が下がらなくなり、糖尿病が悪化します。

誤嚥性肺炎

誤嚥によって食べ物などと一緒に口腔内の細菌（特に歯周病菌）が気管に入り込み、肺にまで到達すると、肺炎（誤嚥性肺炎）を起こすリスクが高くなります。

胎児の低体重・早産

妊娠している女性が歯周病に罹患している場合、低体重児及び早産の危険度が高くなると言われています。

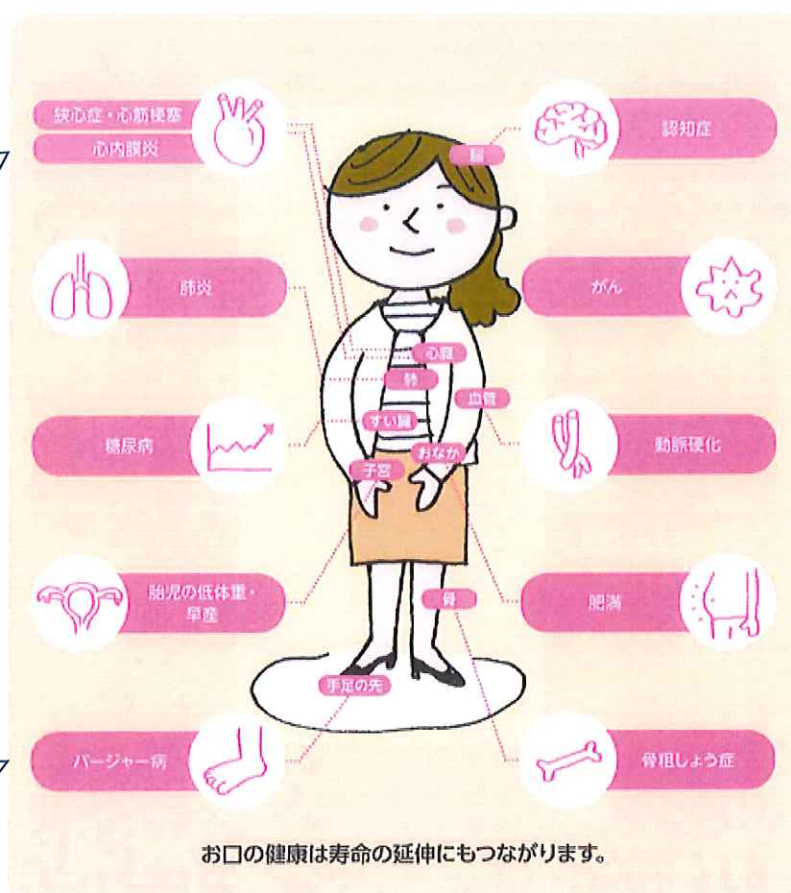
骨粗しょう症

女性ホルモン（エストロゲン）の分泌が少なくなると、歯を支える歯槽骨ももろくなります。また、歯周ポケット内で炎症を引き起こす物質が作られ歯周炎の進行が加速されます。

お口の健康は全身の健康と深い関係があります

歯周病に感染すると歯茎から血管内に細菌（特に歯周病菌）が侵入し、血流に乗って心臓に運ばれることで感染性心内膜炎を引き起こすリスクが高まります。

末梢血管が炎症により閉塞をきたす病気で、冷えやしびれ、痛みなどの症状がある。男性に多い。



歯周病菌によりカテプシンBという酵素が増え、アルツハイマー型認知症の発症因子である「アミロイドベータ」の受容体が増えることによって、認知症の発症・症状悪化を招く。

歯周病は肥満を引き起こし、肥満が歯周病を悪化させると言われています。また、体脂肪率が5%増えると歯周病リスクは30%増しになるとも言われています。